

るくおん通信

発行日： 1991年11月15日

No. 39 号

発行者： 盲人情報文化センター録音製作

「音訳研修の会」から

処理方法 1). カッコをはずして読む 2). カッコをはずし、前に戻って読む 3). カッコ…カッコトジ (トジ) と読む 4). ( ) の言葉が外 の言葉にかかる時は、一つの言葉として読む 5). カッコ…カッコトジ (トジ) と読み、前に戻って読む 6). カッコの記号を別の言葉に変えて読む 7). ( ) の文章を前後に移動して読む 8). カッコ内を無視する

( ) の処理の練習問題

練習1

●私の率直な言葉(と、私自身は思っている)が、鋭い非難に響き、非難に対する防衛というべきか、おろおろ嘆き口調になると、話が振り出しに戻ってしまう。

\* ( ) の中を声を低くして(ピッチを低く)カッコの中をそのまま読むと、どうしても「と、私自身は思っているが、鋭い非難に響き・・・」と続いて聞こえそうです。

この場合、やはりカッコの中を読んだあと、もう一度、「私の率直な言葉が、鋭い非難に響き・・・」と戻って読べきでしょう。

練習2

●二人の育ちは違っており、前者は中仏ベリー地方出身で、共和的伝統の中で育った(その兄弟はボーム・レ・ダーム町の社会党町長だった)し、後者はベルギー・フランドル地方の出身で、貴族的雰囲気をもっていたが、二人には多くの共通点も見られた。

方法1. この例で、助詞の「し」を前に持ってきて読む方法をとる場合、カッコを言わないで読むと「・・・だったし、兄弟は・・・社会党町長だった。」と文章が終わってしまいます。もし、助詞の「し」を前に持ってきて読むのであれば、「カッコ・・・トジ(カッコトジ)」を読む必要があるでしょう。

注意：助詞を移動して読む場合、意味が違ってきたりする事がありますので注意しましょう。

方法2. 「カッコ、・・・トジ」と言って、「共和的伝統の中で育ったし、後者は・・・」と読む。

### 練習3

②●インバネス、インバネス、と叫んで母をせきたてた文の声は今も耳に残っている。声量の無い人だったから（私もそうだ）、甲高い、かすれた声になった。

\*カッコの中を少し声を低くして（ピッチを低くして）戻らずに読む。

### 練習4

③●若者は二人の名前も聞かなければ、招待されているかどうかも聞かなかった。客の名簿を暗記している（これはありそうもない）か、だれを館に入れようとかまわないと思っているのかのどちらかだった。

\*この文章も、カッコの中をピッチを低くして読んでも、「か」の読み方によっては、「客の名前を暗記している。これはありそうもないか、だれを館に入れようとかまわないと思っているのかの・・・」と原文と違って取られそうです。カッコ内を読んでから一度戻って「客の名簿を暗記しているか、だれを館に・・・」と読む方が無難でしょう。

### 練習5

④●会場の隅にいた何物かが — 明らかに意図的にそこにいたのだが — たちあがった。赤い小さな本になっている毛沢東語録をもつと（赤いビニールの表紙がついていた） — これはだれでも肌身離さずもっていなくてはならなかった — 高くかかげ、全員がスローガンを叫ぶ音頭をとった。

\*この例では、最初の — と、後の — そして、カッコをどう読むかでしよう。最初の — はピッチを低くして読む処理でいけそうですが、後のカッコと — の部分は、やっかいです。カッコの中をピッチを低くして読んでも、「赤い小さな本になっている毛沢東語録をもつと、赤いビニールの表紙がついていた。」という文章になってしまいそうです。

この場合、「・・・毛沢東語録をもつと、カッコ、ビニールの表紙がついていた。これはだれも肌身離さずもっていなくてはならなかった。トジ（カトジ）。毛沢東語録をもつと高くかかげ、全員が・・・」と読むべきでしょうか。

カッコの中の文章が終止形でカッコの前の文章とつながる場合はたとえ、ピッチを低くしても文章の流れが止まってしまうので注意する必要があります。

### 練習6

⑤●しかし同時に、それは資本主義経済の命取りにもなりかねない多くの社会的矛盾を生み出した。その最大のものは持てる者と持たざる者との開き、貧富の差の拡大である。つまり持てる者は自由を最大限に活用し、持たざる者の犠牲の上ますます富んでいく一方、明日の糧を得るには労働を売る以外に何ももたない者は、自由の名の下に劣悪な条件で労働力を売るしかない状態（失業の増大により労働力を売ることさえできない状態も生じた）に置かれ、ますます貧しい

った。

\*カッコ・・・トジ (カッコトジ) でそのまま読む。戻って読むではとの意見もありましたが、このカッコは、「・・・や」という意味で使われていますので、あえて戻らなくてもいいでしょう。

### 練習7

⑥●なお、法律事には人の精神作用を要件とするものとそうでないものがある。一定の行為（これに適法なものと同法なものがある。法的効果が付されるのは適法な行為についてだけではない。故意又は過失によって他人の権利を侵害する行為や刑法で定める行為は違法な行為であり、前者は不法行為（民法709条）、後者は犯罪として、それぞれ損害賠償、刑罰の原因となるという法的効果が付される）や内心的状態（知っている・知っていない、欲する・欲しない、という心の内側の状態）は前者であり、人の生死などの自然の出来ごと、時の経過などは後者である。  
\*この文章は、「一定の行為や内心的状態は前者であり、人の生死などの自然の・・・」という文章に3つのカッコがあります。

方法1. 2番目の民法のカッコは読まずに、最初と最後のカッコを読む方法。

方法2. 最初のカッコは戻り、2番目は読まず、3番目のカッコはピッチを低くして読む方法。

方法3. 最後のトジ (カッコトジ) を読んだ後に、一定の行為や内心的状態は前者であり、人の生死・・・」と戻って読む方法。

などがあるでしょう。

### 練習8

⑦●たとえば、キラーT細胞のばあいは、めざす細胞にとりついて、「パーフォリン」という毒物を注入、これが細胞膜に穴をあける。穴のあいた細胞は生命維持に必要な水分がもれ出て、死んでしまう。こんなふうにして数百万個の細胞が破壊されると、オリビアに発熱が始まり、あたかも感染症とたたかっているかのように（実際にはバクテリアは関与していない）、白血球の数が異常にふえてくる。

\*ピッチを低くしただけでは、カッコの中の文章が前につながり不自然です。

方法1. カッコ・・・トジ (カッコトジ) をいう。

### 練習9

⑧●「読み」の珍答例では、「家に伝わる重宝（じゅうぼこ）」、「便乗（うんちん）ねあげ」、「絵馬（ひのえうま）をおさめる」、「納豆（えだまめ、えんどう）」、「雑炊（ぞうに、すいとん、ザーサイ）」、「辛苦（からし、しおから）」、「蘊蓄（とっくり、ワイン、トランシーバー）を傾ける」、「飛白（ワイシャツ、メリヤス、はんでん、さらし）」、「かれの毒舌（ねこ

じた)は有名だ」「二人で折半(わりかん、やまわけ)する」。

\*このカッコは「・・・を・・・」という意味ですので、「家に伝わる重宝、重宝をじゅうばこ、便乗値上げ、便乗を運賃、絵馬をおさめる、絵馬をひのえうま。・・・」

他の言葉に置き換える場合、原則として他の方法ではうまく処理できない場合に限るようにしましょう。この例ではカッコを無視すると何の事だか分からなくなりますし、カッコを読むと煩雑すぎてかえってわかりにくくなります。

録音製作係 清水賢造

正誤表から・・・その14

語句	誤読	正しい読み	語句	誤読	正しい読み
死者	シキヤク	シカク	与力	ヨリョク	ヨリキ
黒白	コクハク	コクビヤク	冶金	チキン	ヤキン
有髪	ユウハツ	ウハツ	解熱	カイネツ	ゲネツ
道化	ドウカ	ドウケ	薬研	ヤツケン	ヤゲン

二通りの読み方があるもの・・・その1

語句	古い	新しい	語句	古い	新しい
発足	ホツソク	ハツソク	大安	ダイアン	タイアン
奥義	オウギ	オクギ	軽重	ケイチョウ	ケイジュウ
客員	カクイン	キヤクイン	潮騒	シオザイ	シオサイ
極微	ゴクビ	キョクビ	直答	ジキトウ	チョクトウ

二通りの読み方あって各々意味が異なるもの・・・その1

神道	シンドウ シントウ	神様 墓地の道 信仰、宗教	清浄	ショウジョウ セイジョウ	仏教用語 清潔
香水	コウズイ コウスイ	仏に供える水 化粧品	再建	サイコン サイケン	神社、寺 一般
建立	コンリュウ ケンリツ	神社 ビルなど	開眼	カイゲン カイガン	仏教の完成 医学

— Q & A —

Q：カセットデッキで録音していますが、録音したものを聞き返すと前後に微かに繰り返しの声がかえってきますがどうしてですか。また、これを防ぐ方法があれば教えてください。

A：録音した声は前後に小さく聞こえてくるのは転写をおこしているからです。巻取られているテープは相互に密着した状態にあり、お互いに磁力線の影響を受け合います。このため、接し合っているテープ間で磁気の転位がおこり、これが録音されたのと同じ状態になります。これを転写と呼んでいます。転写は、オープンテープなどでも長時間たったものは起こりますが、カセットテープでは録音してすぐに微かな転写がおきているようです。普通のテープレコーダーで聞いただけでは分かりませんが、ヘッドホーンなどできけば微かに転写しているのがわかります。転写しているテープは、僅かな音であれば気になりませんが、長時間保存したもので転写のひどいものは雑音と同じで聞き苦しいものになります。その点、カセットをマスターとして、長時間保存することは転写をおこす点で難点といえます。

これを防ぐことはできませんが、転写は、録音レベルが大きすぎるときや、周囲の温度が高いほど起こし易いようです。また、高級なカセットテープほど転写が起きるようです。

Q：「近点協」の「録音製作委員会」はどんなことをしているのですか。

A：「近点協」の正式名称は近畿点字図書館研究協議会といい、近畿の点字図書館や公共図書館が加盟している組織です。現在、38館（点字図書館14、公共図書館24）が加盟しています。この中に、録音製作委員会が設置され、各館から委員が選出されています。現在、委員は11館から選出され、隔月に集まり、情報交換、改訂予定の「レコーディング・マニュアル」の検討、共同製作などを進めています。共同製作とは、シリーズの作品を選書し、それを各加盟館が分担して製作する事業です。これまで医学書、性教育関係、園芸関係などのシリーズを手がけてきましたが、各館の基準やレベルがまちまちで、共同製作という面での問題もあり、今後、近点協レベルの共同製作チームを結成し、職員と担当ボランティアが共同で、新たに共同製作を進めていく計画です。

なお、録音製作委員会に参加しているメンバーがまだ一部であることから、委員会のメンバーを増やすことも今後の課題になっています。

◇◇ このコーナーは質問にお答えします。どんな事でも結構ですのでご質問があれば、お寄せください。

## 第5回音訳研修の会のご案内

テーマ： 目次の読み方、録音図書凡例など本文に入るまでの処理

日時： 1991年11月28日(木)

13:30~15:30

場所： 盲人情報文化センター9階ホール

本によってさまざまな目次をどの様に処理するか、その具体的な方法や録音図書凡例はどのような時に、どの様に断わるか、本文に入るまでの処理について研究します。

## リクエスト図書一覧

下記の図書は利用者から原本を用意されて製作依頼を受けています。音訳してもよいと思われるグループや個人の方がありましたら、下記までご連絡ください。はじめてのグループも歓迎します。  
(連絡先: 06-441-0015 盲人情報文化センター録音製作係、清水)

- 『Lisp/MS-DOS版エキスパートシステム構築法』 /高橋邦芳著：〈情報科学、専門書〉  
『新世代ビジュアルワード「遊・名人Ver.2.0」操作ガイド』 /コアス事業部著：〈コンピュータ〉  
『会社法』 /鈴木竹雄著：〈法律〉  
『古代エジプト失われた世界の解説』 /笈川博一著：〈歴史〉  
『ジグが来る上・下』 キンパル・アームストロング 著 村上博基訳：〈外国文学〉  
『悪霊撃退法』 大川隆法著：〈宗教〉  
『絵本の新世界』 今江祥智著：〈読書法〉

<<内は分類

## 音訳を引き受けて頂いた図書とグループ名

- |                               |              |
|-------------------------------|--------------|
| 『最後の扇』 /山本耕一編著                | ICCBリクエストチーム |
| 『ことばがヒラかれるとき』 /竹内敏晴著          | ICCBリクエストチーム |
| 『母乳で育てる!おっぱいの出し方・飲ませ方』 /根津八紘著 | ICCBリクエストチーム |
| 『黒い臨月、ほか』 /山本正志著              | みなわ          |
| 『白牡丹 竹内武城句集』 /竹内武城著           | えくてもあ        |
| 『灯』 5,6,7月号 /松本政高編            | えくてもあ        |